

LNGビジネスの拡大戦略 ～イクシスLNGプロジェクト～

専務執行役員 オセアニア事業本部長
大川 人史



1

強靱化

プロジェクトの長期安定操業

2

プラトー維持・バックフィル・トレイン拡張

イクシス施設を利用した新規・既存ガス田の開発・生産

3

クリーン化

二酸化炭素排出量の削減

4

INPEXブランド

豪州における確固としたINPEXブランドの確立

5

豪州におけるエネルギー事業・投資環境

プロジェクトの長期安定操業に取り組む

本年は一時的トラブルからの早期生産回復を見込む

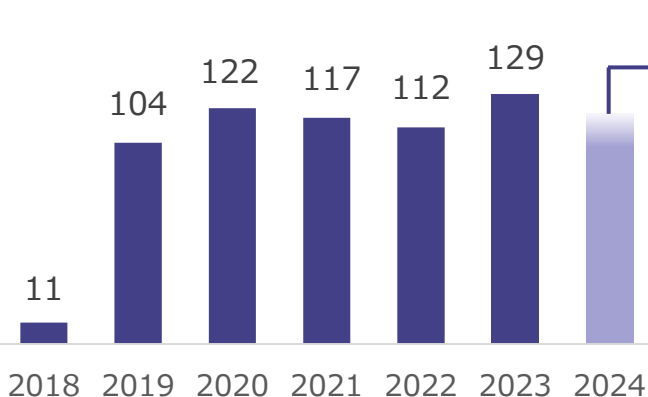
健全なHSE管理と
プロセスセーフティ強化に
よる安全操業の継続

メンテナンスの着実な
実行による設備信頼性
向上と安定操業

生産計画と配船計画の
最適化による
販売量の最大化

LNG施設の効率的な
運転による
CO₂排出量削減

LNGカーゴ数



Q1-2:
高い施設稼働率により
安定した生産実績

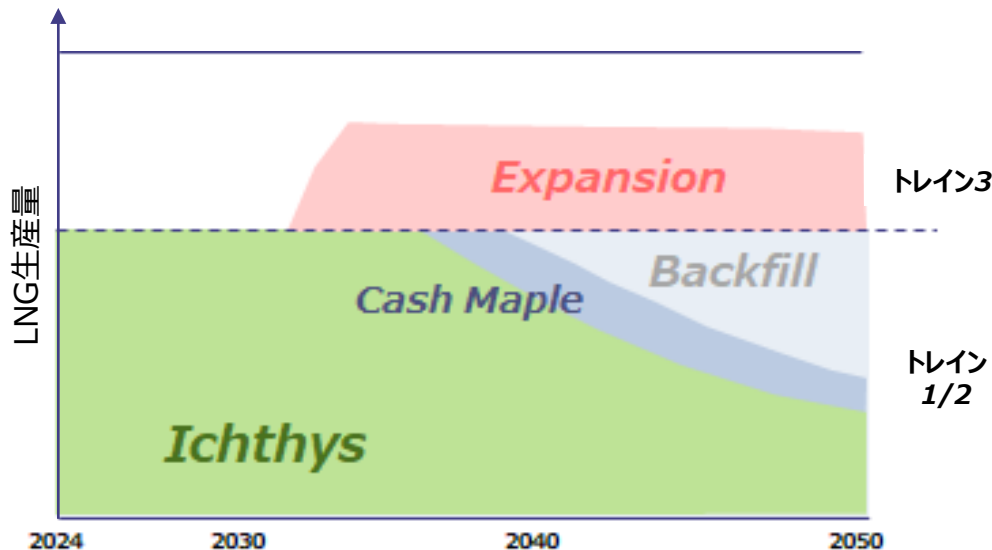
現状:
施設トラブルにより生産
制限。11月初旬に回復
見込み

HSEパフォーマンスの向上



TRI FR (Total Recordable Injury Frequency Rate): 100万労働時間あたりの記録可能な傷害の数・12ヶ月移動平均値

イクシス施設を利用した新規・既存ガス田の開発・生産



1. イクシス追加開発

- ・ 浅部リザーバーの開発井掘削完了
- ・ 海上施設への追加設備を建造
- ・ 深部リザーバー開発

2. 周辺地域の開発検討作業

- ・ Cash Mapleガスコンデンセート田、2030年代生産開始想定

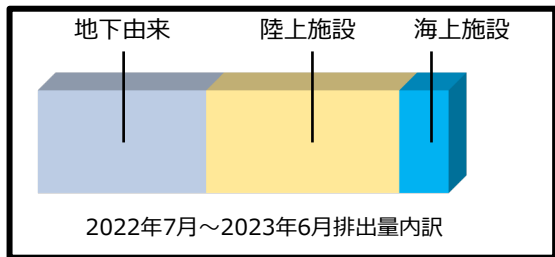
3. 周辺地域の探鉱活動

- ・ 試掘井2坑はドライ
- ・ AC/P71探鉱区(Cash Maple隣接)取得
- ・ 経済効率の高いイクシスLNGバックフィル開発機会を追及

4. 第3トレイン拡張に向けて

- ・ 2030年代の稼働に向け、案件評価継続中

豪州で操業を続けるための責務として、脱炭素への取組を進めていく



2022年7月～2023年6月
5,840,868 (tCO₂-e) 豪州17位

CCS事業

- GHGアセスメント・G-7-AP (Bonaparte CCS) 鉱区にて、本地域のCO₂地下貯留可能量把握に資するため、本年中に2坑の評価井掘削を完了する予定
- イクスガスコンデンセート田地下由来のCO₂をイクス陸上施設で回収し、Bonaparte CCS 鉱区の地下へ圧入する計画
- 北部準州政府等が主導するダーウィンCCUSハブ構想等の実現に資する



更なるCO₂削減をめざして

- LNG施設への再エネ電源等の導入も検討中
- Wheatbelt Connectプロジェクトの植林を継続

豪州における確固としたINPEXブランドの確立

イクシス1000カーゴ出荷記念写真@Shu-kai



社長上田による基調講演
@AEP Conference & Exhibition (豪)



アルバーニ首相との意見交換



旗掲揚式@NAIDOC Weekセレモニー



Employer of Choice

従業員に望まれる職場であり続ける

- 従業員のエンゲージメント調査を継続実施、より良い職場を追求
- 幹部層を対象としたリーダーシップ能力開発プログラムの実施

Partner of Choice

政府、業界やステークホルダーから選ばれる会社へ

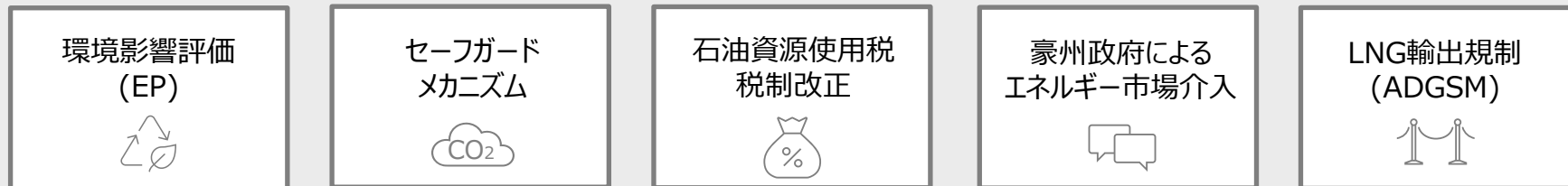
- 豪州政府との良好な関係維持
- エネルギーセクターの産業団体によるカンファレンス・セミナーへの出展、基調講演の実施

地域貢献

コミュニティとの信頼関係醸成と維持

- 先住民社会との協調活動計画2023-25に基づく、先住民の雇用、文化・歴史の理解促進等
- ララキア・イクシスLNG財団信託を通じた、ララキア族に対する今後40年間2,400万豪ドルのコミット

これまでの豪州ガス投資への逆風



2024年5月 豪州政府による“Future Gas Strategy”公表

- 豪州経済におけるガスの役割に関する政策理念
- 豪州政府内閣において、**天然ガスの重要性について合意形成**がなされたもの
- ガスは2050年以降もエネルギー転換期に**不可欠なエネルギー**で、新たなガスリソース確保のために**追加投資が必要**であると明記
- ネットゼロ実現のためには**CCSが不可欠の技術**と明記

これまで積み上げてきた関係を活かし、投資環境の維持に向け
政府等に対して積極的に働きかけていきます